

請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	令和2年11月5日 第29号
件 名	少人数学級の実施を求める請願
請 願 者	文京区本駒込五丁目15番12号 新日本婦人の会文京支部 代表 榎 戸 忠 子
紹 介 議 員	沢 田 けいじ 萬 立 幹 夫
請願の要旨	次 頁 の と お り
付託委員会	文 教 委 員 会

請願理由

国に少人数学級の実現を求める地方議会の意見書が、228自治体で採択されています。北海道、岩手、山梨、和歌山、鹿児島の1道4県。県庁所在地・政令指定都市では札幌、金沢、甲府、名古屋、松江、福岡、北九州の各市議会であがっています。

今春コロナ禍の中で、「3密」を避けるため分散登校が行われ、20人程度での指導を経験し、子どもたちからは「勉強が良くわかった」などの声、教職員から「ゆとりを持って子どもたち一人ひとりと丁寧にかかわることができた」、保護者から「感染から子どもを守るには20人くらいがいい」と肯定的な声が上がりました。コロナ禍のもと、学校現場においては子どもたちの学びをどう保障するかが問われています。

9月8日、政府の教育再生実行会議は少人数学級を推進する中間答申をまとめました。また、文部科学大臣は、新型コロナウイルス感染症を経験する中で、子供たちの学びを確実に保障するため、少人数学級を来年度から段階的に進めるために必要な予算要求を行う考えを表明し、9月29日の文部科学省の来年度概算予算要求事項に「新しい時代の学びの環境」における少人数学級実現に向けた環境整備等の予算が示されました。

請願事項

1. 子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障するための少人数学級実施に向けて教職員増と施設・設備の整備を国の責任で行うよう国に求めること。
2. 文京区は議会で請願採択(2016年2月定例議会「文京区として独自に、小、中学校の全学年で35人学級制度の実施を求める請願」)されている「35人学級」を早急に実施すること。